

第7回富山県農村医学研究および健康管理活動発表集会記録

日 時： 平成2年2月3日
場 所： 厚生連高岡病院
地域医療研修室

第9回の研究発表集会は、平成2年2月3日、厚生連高岡病院にて、発表演題9題、特別報告1題参加約70名でおこなわれ、活発な討論がおこなわれました。

なお、発表演題名は下記の通りです。

＜ プ ロ グ ラ ム ＞

1. 会長挨拶 (13:40~13:45)
2. 会員発表 (13:45~発表時間10分 討論5分)

座長 厚生連高岡病院長 龍沢俊彦 13:45~15:00

1. 免疫学的便潜血検査による大腸癌検診の取り組み
—巡回ミニドック検診での成績—
厚生連高岡病院健康管理科 ○橋爪信子 野崎 豊 山岸律子
宮田吉高 渋谷直美 川東正範
2. 検診センターにおける二次検診未受診状況
富山県厚生連検診センター ○保井陽子 永田隆恵 松井規子
川口京子 岸 宏栄
3. 厚生連検診センター10年間に発見された癌
富山県厚生連検診センター ○小川忠邦 中谷恒夫 川口京子
松井規子 岸 宏栄 永田隆恵
保井陽子 砂田誠一郎 谷川秀明
4. 農村における成人の血清コレステロール値の地域差について
—老人健康診査の結果から—
日本健康倶楽部 ○前木由美 中川秀幸 井上知康
立山町 森川安喜子 布目正子
宇奈月町 中島妙子
入善町 大角美恵子 野坂真澄
5. 大動脈石灰化陰影に関連ある因子について
富山県厚生連検診センター ○小川忠邦 中谷恒夫 川口京子
松井規子 岸 宏栄 永田隆恵
保井陽子 砂田誠一郎 谷川秀明

座長 黒部温泉病院院長 渡辺正男 15:00~16:00

6. 高岡市農協太田支所における健康づくり運動

高岡市農協健康管理推進協議会

○荒木富美子 横越太美雄 滝田金蔵

轡田善彦 大浦栄次

7. 健康カレンダーによる「うんち調べ」

—高岡市太田地区における調査から—

高岡市立太田小学校 ○水谷美智代

高岡市農協 荒木富美子 横越太美雄

富山県農村医学研究会 大浦栄次

8. 空中花粉調査(1989年)

—スギ科・ヒノキ科花粉の7観測点における比較—

富山医薬大公衆衛生学教室 ○寺西秀豊 剱田幸子 加須屋実

富山県農村医学研究会 大浦栄次

厚生連高岡病院 豊田 務

9. 水田農薬散布者の農薬暴露量

富山県衛生研究所 西淵富蔵 城石和子

富山県厚生連 大浦栄次 川口京子

城端厚生病院 寺中正昭

〈特別報告〉

座長 全国国保診療施設医学会顧問 越山健二

「日ソ友好団、シベリアを行く」

富山県農村医学研究会長 豊田文一

3. 閉会(16:30)

第20回 通常総会 記 録

日 時 平成元年6月3日 午後1時30分～
場 所 富 山 県 農 協 会 館

I. 総会議事の概要

会 員 総 数 244名 うち出席者70名 委任状126名

会 長 挨 拶 豊 田 文 一

議 長 選 出 厚生連本所 安宅清一

議事録署名者 富山市 木村実 魚津市 清水忠夫

書 記 橋本賢治 田畑篤

議 事 第1号議案 昭和63年度事業報告書、財産目録、収支決算報告承認について

第2号議案 平成元年度事業計画及び収支予算案承認について

第3号議案 役員の改選について

第4号議案 顧問の承認について

特 別 講 演 富山県立技術短期大学教授 北 林 吉 弘

演 題 「農村空間の変貌」

II. 昭和63年度事業報告書

(昭和63年4月1日～平成元年3月31日)

I. 事業の概況

昭和63年度事業の終了に当り、事業の概況について報告致します。

本会は、昭和44年11月15日に創立され、本年11月をもって20年を経過致します。この間、富山県農村に惹起する健康問題の調査研究に鋭意取り組み多く成果を上げてまいりました。これもひとえに、会員諸兄並びに、関係各位のご努力並びにご協力のたまものであります。以下に昭和63年度事業の概況について報告致します。

昭和45年以来行ってまいりました農業機械災害事故調査、また、昭和55年以降実施してまいりました農業機械以外による災害事故調査について今年度も継続して調査してまいりました。機械事故件数は、前年とほぼ同数であり減少傾向がみられません。農薬中毒の実態調査も継続して実施しましたが依然としてパラコート中毒が多く発生しており、死亡者数も全く減少傾向は見られません。今後とも、災害事故防止、農薬中毒防止の努力が必要であります。

各種の農業形態により引き起こされます健康問題についても鋭意取り組んでまいりました。チューリップ球根栽培者の健康調査においては、球根栽培者の皮膚カブレについてパッチテスト及び農薬散布の生体への影響について調査してまいりました。また、農作業姿勢について、中腰姿勢を多くとる野菜栽培者を中心に農作業姿勢の健康への影響について検討してまいりました。また、農村

における花粉症の解明のための基礎的研究として県内5ヶ所において空中花粉の調査を行ってきました。以上の問題は、今後とも重要な課題であり、次年度以降引き続き調査研究を継続していきたいと考えております。

次に、農村における健康状態の把握についても引き続き行ってきました。農村検診センターにおける検診等各種検診や地域における各種健康調査が実施され農村における健康管理上の課題が明らかにされてきております。

昭和61年度より実施しています農村における死亡の実証的研究では、先に実施した中高年齢者の保健調査の対象者のうち、既に死亡した者を対象に死の迎え方の諸問題について調査しました。その結果、死に際して多くの課題があり、今後の農村のあり方、医療機関のあり方について多くの示唆を与えております。

なお、これらの課題のうち農薬中毒及び農村における死亡問題は厚生科学研究の一部としても行っています。

以上の研究結果は、「第37回日本農村医学会」や「第6回富山県農村医学研究および健康管理活動発表集会」等の各種学会や本会会誌等で発表しています。

国際的な学術交流も行われました。7月には本会とインドネシアのハサヌディン大学との間で農村医療に関するワークショップが開催され、本会より5名が討論に参加しました。また、北京で開催された「第4回アジア農村医学会」にも本会の研究成果が発表されました。

以上の活動は、医療関係はもとより行政、農協およびあらゆる職域の方々との協力により実施されてまいりました。次年度も引き続き事業計画に基づき、さらに調査研究に鋭意取り組んでまいりたいと思いますので、会員各位の絶大なるご協力をお願い致します。

最後に、県当局、農協各連より絶大なるご援助をいただいておりますことに対して厚くお礼申し上げます。

II. 主な事業項目の概要

(1) 総会：昭和63年6月11日、富山県農協会館

(2) 研究調査活動

(1) 農業災害に関する記査研究

①富山県における農業機械災害事故調査

②富山県における農業機械以外の農業災害事故調査

県内のすべての外科、整形外科、接骨院約750ヶ所に調査用紙を送付し調査した。その結果、農業機械事故件数は、100件余りあり、前年とほぼ同数であった。特にめだつたのは草刈機の事故であり、事故内容もかなり重大化している。死亡事故2件の内訳はトラクターと草刈機であった。今後、草刈機による事故内容についてさらに詳細に調査し、事故防止対策についての方策を確立する必要があると考えられた。農業機械以外の災害事故は、例年通り高齢者に集中する傾向にあった。

(2) 農薬中毒に関する調査研究

①富山県における農薬中毒の臨床例の収集とその問題点の解明

②農薬散布者の健康調査

県内の内科、外科、小児科、眼科、皮膚科を標榜する医療機関全てを対象に農薬中毒の臨床

例の有無を調査した。回収率は70.0%であった。回答のあった医療機関のうち臨床例「有り」と回答のあった医療機関に詳細調査書を送付し、事故発生状況、治療経過等を調査した。中毒発生件数は、昭和61年度13件、昭和62年度14件、昭和63年度24件、死亡者数は11人、9人、10人であった。このうちパラコートによるものが約半数の11件あり、うち9名が死亡しており、相変らず多い。全体として自殺が多く、誤飲が3件、また散布中の事故も発生している。今後とも農薬中毒の予防の方策確立のための努力が必要と考えられた。

また、前年の調査によりチューリップ球根栽培の血清中のコリンエステラーゼ (ChE) 活性の低い者が他の地区に比較して明かに多かった。この ChE 低下の原因として有機リン剤等農薬の影響が考えられた。そこで、低 ChE 活性者及び正常者おのおの10名を選び農薬散布期間、非農薬散布期間4回にわたり、健康調査をした。その結果、低 ChE 者のほとんどは、遺伝的要因によるものと考えられた。また、赤血球中の ChE の測定からも農薬の影響は考えられなかった。これまで、農薬中毒の指標の一つとして血清中の ChE 低下が問題にされることが多いが、今後、遺伝形式を含めて検討する必要があると考えられた。

(3) 農村におけるアレルギー疾患に関する調査研究

- ①チューリップ皮膚炎に関する調査研究
- ②農村地区における花粉症に関する調査研究
- ③山村住民のアレルギー疾患に関する調査研究

チューリップ球根栽培者に特有に発生するチューリップ皮膚炎について、当該患者7名について皮膚科的診断、並びにチューリップ球根抽出エキスをを用いてパッチテストを実施した。その結果、全ての患者において陽性反応を示し、チューリップ球根による疾患と判定された。今後、抽出液の分画による成分の分離同定を行い、当該疾病の予防に役立てたい。

また、農村における花粉症については、県内5ヶ所において花粉採取器を設置し、春期の花粉飛散状況を調査した。その結果、スギ花粉の飛散は呉西と呉東では飛散パターンが相違している可能性が考えられた。さらに、チューリップの花つみ作業時に花粉症的症状を訴えた症例について、チューリップ花粉によりアレルゲンを作成し、皮内テスト、誘発テストによりチューリップ花粉症であると考えられたが、今後 RAST 及び多数のアレルゲンによる確認試験を行ない、本症例の確認をする必要があると考えられる。その他、白峰の山村住民の検診において、アレルゲンテストを行ない、農村におけるアレルギー疾患の検索を行った。

(4) 農作業姿勢と健康障害に関する調査研究

- ①野菜栽培者の作業と健康障害に関する調査研究
- ②野菜栽培者の作業内容と健康障害に関する予備調査

高岡市福田地区において、ナス栽培14名について、農繁期、農閑期の計5回にわたり採血し、筋肉労働により増加するCPKを測定し、農作業の影響について検討した。その結果、農繁期において明かにCPKが増加する者が多く、農繁期における休養のとり方について工夫の要する者が多かった。また、10月に農協職員約300名のCPKと当該月の野菜栽培者120名のCPKを比較したところ、明かに野菜栽培者のCPKが高かった。今後の農作業改善の指標としてCPKの利用について検討の余地があると考えられた。

また、ナスのV字仕立てと、普通仕立てによる収穫時のCPKの差について比較し検討したが、作業時間が短かったためか、特に差はみられなかった。

(5) 農村における死亡の実証的研究

①「中高年齢者の保健調査」対象者のうち死亡した者の実態調査

上記の対象者（死亡者）20名について、その家族に死亡時の状況と先の調査で本人が希望していた死のあり方とのギャップについて調査した。その結果、死を迎えるに当たっての家族のあり方、特に農村社会のあり方等多くの課題が示唆された。特に、死に際して自分の家での死を強く希望している例が多かった。

(6) その他、農村における各種健康調査、保健調査等

「農村婦人の肥満調査の結果解析」、「農村における学童の保健調査の結果解析」を行ない、今後の農村における健康管理の指標の幾つかを得た。また、高岡市太田地区をはじめ、各地でみそ汁塩分調査、健康調査等を行ない、農村地域における健康管理の課題を明かにしてきた。

(3) 厚生科学研究費による調査研究

前年に引き続き下記の課題について厚生科学研究費補助金による研究を実施した。

(1) 「農村における死亡の実証的研究」（分担研究者 豊田文一他）

(2) 「農業生産活動における化学物資の人体への影響に関する研究」（分担研究者 寺中正昭他）

(4) 各種研究集会参加・交流並びに開催

(1) 学会等への参加

①第37回日本農村医学会

・開催日時 昭和63年10月20日・21日

・開催場所 青森市

・会員発表 4題

②第4回アジア農村医学会

・開催日時 昭和63年10月7日～9日

・開催場所 中華人民共和国 北京市

・会員発表 1題

③インドネシア・ハサヌディン大学との学術交流

「日本とインドネシアにおける農村医療の現状と未来に関するワークショップ」

・開催日時 昭和63年7月28日

・開催場所 インドネシア・ハサヌディン大学

・参加者 発言者5名（参加者10名）

④日本農村生活研究会、現地視察

・開催日時 昭和63年10月13日・14日

・開催場所及び視察場所 新潟市、白根市

・参加者 1名

(2) 第6回富山県農村医学研究及び健康管理活動発表集会

・開催日時 平成元年2月4日

・開催場所 厚生連高岡病院 地域医療研修室(1)

・会員発表 8題、特別報告1題（参加者約70名）

(5) 会誌第20巻の発刊

III. 主な行事 (昭和63年4月1日～平成元年3月31日)

年 月 日	主 な 行 事	
	事 項	場 所
63. 4. 1	空中花粉定点観測 (63. 3. 18～11. 20)	井波農協、立山町農協 厚生連看護専門学校 藤沢薬品の各屋上
4. 5	農薬散布者検診(チューリップ球根栽培農家20名) ※特に ChE の追跡調査 (以後5/26、6/30、8/26)	砺波市庄下地区
5. 20	昭和62年度第4回理事会	厚生連会議室
6. 9	山村住民の耳鼻咽喉科検診	利賀村
6. 11	第19回総会	富山県農協会館
6. 28/30	チューリップ皮膚炎確認のためチューリップ球根エキスによるパッチテスト実施(7名)	砺波市庄下地区
7. 2	チューリップ花粉症を疑われる症例にアレルギーテスト、誘発試験を実施	砺波市高波地区
7. 5	ナス栽培従事者のC P K追跡調査(14名)(以後、8/11・10/6・11/17・1/23)	高岡市福田地区
7. 25 ～8. 1	インドネシア農村医療実情の視察及びハサヌデイン大学との学術交流	(豊田、越山、長谷田、寺中、中川他5名)
8. 5	第10回富山県農村の健康会議	富山県農協会館
8. 26	チューリップ皮膚炎に関するアンケート調査	砺波市農協庄下支所
8. 31 ～9. 1	ナス収穫作業形態の相違によるC P Kの変動	高岡市福田地区
10. 7～9	第4回アジア農村医学会	北京(豊田、越山)
10. 20～21	第37回日本農村医学会	青森市(豊田他6名)
11. 11	第29回農民の健康会議	東京
11. 18	昭和63年度第1回理事会	厚生連会議室
12. 22～	婦村婦人の肥満集計	
1. 20	昭和63年度農薬中毒実態調査	
1. 20	昭和63年度第2回理事会	厚生連会議室
2. 4	第6回富山県農村医学研究及び健康管理活動発表集会	厚生連高岡病院 (約70名参加)
3. 15～30	昭和63年度農業災害事故調査	
3. 10	中高年齢者の保健調査対象者の追跡調査	
3. 22～31	学童の保健調査集計	
3. 29	会誌第20巻編集委員会	厚生連会議室

昭和63年度収支決算書

収入の部

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
会 費 収 入	280,000	224,000	△ 56,000	
会 費	280,000	224,000	△ 56,000	224人×1,000円
助 成 金	1,800,000	1,800,000	0	
助 成 金	1,800,000	1,800,000	0	富山県より
特 別 負 担 金	3,480,000	3,480,000	0	
特 別 負 担 金	3,480,000	3,480,000	0	4 連合会×870,000円
受 託 料	100,000	100,000	0	
受 託 料	100,000	100,000	0	農機災害調査委託費
雑 収 入	6,197	215,942	209,745	
雑 収 入	6,197	215,942	209,745	会費値引、預金利息
前 期 繰 越 金	300,193	300,193	0	
収 入 計	5,966,390	6,120,135	153,745	

支出の部

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
会 議 費	700,000	493,355	△ 206,645	
総 会 費	200,000	172,155	△ 27,845	
役 員 会 費	500,000	321,200	△ 178,800	
事 業 費	4,890,000	4,972,146	82,146	
研 究 調 査 費	2,300,000	2,911,452	611,452	
専 門 委 員 会 費	90,000	12,350	△ 77,650	
研 究 集 会 費	500,000	663,560	163,560	
会 誌 発 行 費	1,600,000	1,040,000	△ 560,000	
編 集 委 員 会 費	50,000	42,000	△ 8,000	
通 信 費	100,000	118,256	18,256	
消 耗 品 費	100,000	164,528	64,528	
備 品 ・ 什 器	50,000	20,000	△ 30,000	
20周年記念事業	100,000	0	△ 100,000	
旅 費 交 通 費	60,000	73,490	13,490	
旅 費 交 通 費	60,000	73,490	13,490	
事 務 費	240,000	240,000	0	
事 務 費	240,000	240,000	0	
雑 費	20,000	20,400	400	
雑 費	20,000	20,400	400	
予 備 費	56,390	0	△ 56,390	
予 備 費	56,390	0	△ 56,390	
支 出 計	5,966,390	5,799,391	△ 166,999	
次 期 繰 越 金		320,744	320,744	

平成元年度事業計画

I. 事業方針

富山県内の農山漁村におけるすべての健康問題を調査研究し、明るく健康な村づくりに寄与する。

II. 事業計画概要

1. 農村の職業性疾患の調査研究
 - ・農村の地域環境並びに農作業の特殊性に起因する健康障害の調査研究
2. 農業災害の調査研究
 - ・農業機械の健康に及ぼす影響についての調査研究、特に騒音及び振動の影響に関する調査研究
 - ・農業機械及び農業機械以外による農業災害事故調査研究
3. 農薬の生体に及ぼす影響に関する調査研究
 - ・農薬中毒の実態調査
 - ・農薬の生体に対する急性及び慢性的影響に関する調査研究
4. 健康管理に関する調査研究
 - ・農業従事者の健康状態の把握と保健指導
 - ・農業従事者の健康管理の調査研究
 - ・農業従事者の成人病の実態調査とその対策に関する調査研究
5. 農村における社会医学的研究
 - ・高齢者に関する研究
 - ・社会変動による農業従事者の健康に及ぼす影響についての調査研究
 - ・都市近郊農村における社会医学的研究
6. 農村における特殊疾患の調査研究
 - ・伝染病、風土病等の地域多発疾患の疫学的調査研究
7. 環境汚染と農村における健康障害についての調査研究
8. 乳幼児並びに学童の健康調査研究
9. 農村の健康会議、健康教室等の実施
10. 研究会誌並びに必要な印刷物の発行
11. 研究集会の参加及び開催
12. その他目的達成に必要な事項

III. 主な事業計画

- (1) 主な調査研究
 - (1) 農業災害に関する調査研究
 - ①富山県における農業機械災害事故調査
 - ②富山県における農業機械以外の農業災害事故調査
 - ③農業機械災害事故のケーススタディー

- (2) 農薬中毒に関する調査研究
 - ① 富山県における農薬中毒の臨床例の収集とその問題点の解明
 - ② 農薬散布者の健康調査
 - ・ 農薬散布直前後の健康調査並びに血中農薬の検討
 - ・ 検診センター受診者の農薬の慢性生体影響に関する調査研究
 - ③ 農薬取扱い者の農薬に対する意識に関する調査研究
- (3) 農村におけるアレルギー疾患に関する調査研究
 - ① チューリップ皮膚炎に関する調査研究
 - ② 農村地区における花粉症に関する調査研究
 - ・ 富山県における空中花粉の飛散状況調査（井波他6カ所）
 - ・ チューリップ花粉による花粉症的症状の原因調査（砺波）
 - ③ 山村住民のアレルギー疾患に関する調査研究（於：白峰）
- (4) 農作業姿勢と健康障害に関する調査研究
 - ① 各種農作業姿勢と健康障害に関する調査研究
 - ② 農作業姿勢からくる健康障害の改善方策に関する調査研究
- (5) ネギの皮剥き作業者の健康調査
- (6) その他、農村における各種健康調査等
 - ① 肥満、アルコール、高齢者問題、肝疾患等各専門委員会に関する調査研究
 - ② 農村地域における健康管理に関する調査研究
 - ③ 食生活と健康に関する調査研究
 - ④ その他
- (2) 各種研究集会参加・交流並びに開催
 - (1) 学会等への参加
 - ① 第38回日本農村医学会（平成元年10月，名古屋市）
 - ② 台湾との学术交流並びに農村医療視察
 - (2) 第7回富山県農村医学研究及び健康管理活動発表集会の開催
（平成2年2月，厚生連高岡病院）
- (3) 会誌等の印刷物の発刊
 - ① 富山県農村医学研究会誌第21巻の発刊
 - ② その他
- (5) 創立20周年記念事業
- (6) その他

平成元年度収支予算書（案）

収 入 の 部

項 目	63 年 度 予 算	備 考
会 費 収 入	2 2 4 , 0 0 0	
会 費	2 2 4 , 0 0 0	224人×1,000円
助 成 金	1 , 8 0 0 , 0 0 0	
助 成 金	1 , 8 0 0 , 0 0 0	富山県より
特 別 負 担 金	4 , 6 8 0 , 0 0 0	
特 別 負 担 金	3 , 4 8 0 , 0 0 0	4 連×870,000円
調 査 研 究 協 力 費	1 , 2 0 0 , 0 0 0	厚生連より繰入
受 託 料	1 0 0 , 0 0 0	
受 託 料	1 0 0 , 0 0 0	県より農機災害調査委託費
雑 収 入	5 , 9 4 2	
雑 収 入	5 , 9 4 2	利息等
前 期 繰 越 金	3 2 0 , 7 4 4	
収 入 計	7 , 1 3 0 , 6 8 6	

支 出 の 部

項 目	63 年 度 予 算	備 考
会 議 費	5 5 0 , 0 0 0	
総 会 費	1 5 0 , 0 0 0	
役 員 会 費	4 0 0 , 0 0 0	
事 業 費	6 , 2 0 0 , 0 0 0	
研 究 調 査 費	3 , 5 0 0 , 0 0 0	各種調査研究費
専 門 委 員 会 費	5 0 , 0 0 0	// 打合せ等
研 究 集 会 費	5 0 0 , 0 0 0	日本農村医学会等参加費
会 誌 発 行 費	1 , 6 0 0 , 0 0 0	第21巻発行費
編 集 委 員 会 費	5 0 , 0 0 0	
通 信 費	1 0 0 , 0 0 0	
消 耗 品 費	1 5 0 , 0 0 0	
備 品 ・ 什 器	5 0 , 0 0 0	
20 周 年 記 念 事 業	2 0 0 , 0 0 0	
旅 費 交 通 費	7 5 , 0 0 0	
旅 費 交 通 費	7 5 , 0 0 0	
事 務 費	2 4 0 , 0 0 0	
事 務 費	2 4 0 , 0 0 0	20,000円×12ヶ月
雑 費	2 0 , 0 0 0	
雑 費	2 0 , 0 0 0	
予 備 費	4 5 , 6 8 6	
予 備 費	4 5 , 6 8 6	
支 出 計	7 , 1 3 0 , 6 8 6	

役員・顧問名簿

平成元年6月3日

理 事	役 職
豊田文一	金沢大学名誉教授
吉松勇	県医務課課長
島均	県普及指導課課長
松田茂敬	県公衆衛生課課長
中田慶子	保健所長会会長・富山保健所所長
中川昭忠	保健所長会副会長・福野保健所所長
越山健二	全国国保診療施設協議会顧問
石田礼二	富山市民病院院長
館野政也	県立中央病院副院長
寺中正昭	城端厚生病院院長
熊谷武夫	高岡市民病院参事皮膚科部長（兼高岡市保健センター所長）
黒崎正夫	富山県医師会学術担当理事
中藤康俊	富山大学教授
長谷田祐作	丸の内病院院長
渡辺正男	黒部温泉病院院長
西能正一郎	西能病院院長
北川鉄人	北川クリニック院長
龍沢俊彦	厚生連高岡病院院長
小川忠邦	厚生連滑川病院院長
川東正範	厚生連高岡病院健康管理科部長
八木信一	富山県農協中央会専務理事
佐武久雄	富山県農協青年組織協議会委員長
竹部喜代子	富山県農協婦人組織協議会会長
跡治順子	経済連生活総合課課長補佐
長田栄子	富山県生活指導員協議会会長
監 事	役 職
大沢汎	厚生連高岡病院副院長
林久雄	高岡市農林部長
顧 問	役 職
中沖豊	富山県知事
正橋正一	富山県市長会会長
	富山県町村会会長
広瀬友二	富山県医師会会長
織田肇	富山県厚生部長
広瀬弘生	富山県農業水産部長
松井信勝	富山県農協中央会会長
戸谷徳一	富山県信連会長
大角秀尚	富山県経済連会長
山口光弘	富山県厚生連会長
小森外二	富山県共済連会長

※町村会会長は、6月9日の町村会総会により改選されるので、改選後町村会会長にお願いしたい。

投 稿 規 定

募 集 原 稿 農村医学の分野における独創的な研究および会員のたよりとします。

投 稿 の 資 格 投稿者は原則として富山県農村医学研究会会員とします。

原 稿 の 送 り 先 富山県農村医学研究会事務局宛（富山市新総曲輪2番21号 富山県厚生連内）
投稿原稿の掲載選択順位は編集委員にご一任下さい。

論文原稿の形式

1. 本文は本会規定の原稿用紙に、口語体、平かな、新かなづかいで、できるだけ簡潔に横書して下さい。
2. 外人名、地名、その他の固有名詞、特別な化合物名などは、できるだけ原綴のまま（Pasteur, Prostigmin等）とし、動植物名は日本名の次に学名（ローマ字 Moccus rlesus, 山椒藻 Salvinabatah等）を記入する。計量にかんするものはメートル法に準拠し、次のような略号を用いる。メートルm, センチメートルcm, グラムg, キログラムkg等。
3. コンマ（,）ピリオド（.）コロン（:）ゴジックの使用等に気をつけて下さい。
4. 図表は、そのまま製版できるように上質ケント紙または方眼紙に墨で、ていねいに書いて下さい。

（図表は、特殊なものを除いては、出来あがり左右6.5cmに製版しますから、その2倍か3倍に書いて下さい。）

図表の文字は、こちらで記入しますから、鉛筆で書いて下さい。

5. 写真は出来るだけ鮮明なものをお送り下さい。
6. 本文に挿入する図表、写真については、挿入場所を原稿の欄外に明記（未記）して下さい。

無 料 掲 載 原稿用紙20枚（刷上がり5頁）までとします。ただし挿入附図、附表を含みます。

有 料 掲 載 超過頁の印刷代、附図、附表の製版代の実費は投稿者の負担とします。ただし刷上がり15頁を限度とし長篇の論文を5頁ずつ分割掲載することは認められません。

文 献 1. 雑誌の場合 著者名、標題名、雑誌名（雑誌指定の略号）、巻数（号数）、頁一頁、発行年月（昭和52.5のごとく。）

2. 単行本の場合 著者名：標題名、発行所、発行地、発行年月（必要ならば引用の箇所の頁を最後に）

印 刷 別刷の部数や体裁などについてはある程度まで、実費をもってご希望に応じます。ただし別刷30部までは無料で投稿者に進呈、30部以上は実費をご負担願います。

編集後記

日本農業の基幹作物である米は、米過剰問題や市場開放をめぐって、今日大きく揺れ動いています。とりわけ、富山県は、全国で最も、水田化率が高く、今後の米の動向いかんにより、富山県農業も激変する可能性があります。

農村における健康問題や課題も、このような農業情勢と無縁ではありません。昭和62年度から始まった水田農業確立対策により、水田の約1/4が、転作の対象となっています。その結果、新たな転作物栽培による健康障害や、委託農業による労働過重も問題となってきています。

また、農村における高令化は、ますます、その速度を早めています。

本誌では、今日の農作業における健康問題や高令化社会における農村の役割や課題について、フィールドワークを中心に会員各位が、多方面よりアプローチされております。

明るく、健康で、豊かな農村づくりに本誌に掲げられている研究成果や報告が少しでも役立てば、幸いです。

(E. O)

編集委員 越山健二、長谷田祐作、渡辺正男、北川鉄人

富山県農村医学研究会誌 第21巻平成2年3月25日印刷・3月31日発行

富山市新総曲輪2番21号・富山県厚生連内 電話 富山(0764)45-2307

編集、発行所 富山県農村医学研究会 事務局長 秋元敏夫

印刷所 株式会社チューエツ 富山市上赤江町 電話(0764)32-4171
